

馬見丘陵公園

丘陵一帯に国指定特別史跡・築山古墳を含む約250基の古墳が集中する馬見丘陵の歴史的・自然的環境を保全・活用した都市公園が特徴的な地区

整備のコンセプト:

四季を通じてカメラを向けたくなる名所づくり

H27.6改訂
H30.6改訂

◆植栽景観の現状の課題

- 北エリア花見茶屋周辺や中央エリア花の道を中心に草花を楽しめるが、さらに彩りを付与する余地がある。
- 四季を通じて彩りある植栽景観を楽しめる公園として整備されているが、樹木の生長・繁茂により眺望が阻害されている部分がある。また、馬見丘陵公園へのアプローチで樹木・竹林が繁茂している箇所がある。
- 広大な園内での植物管理には人手を要する。

課題解決への主な対応

- 花壇の増設や花畑の創出による彩りの充実
- 各地区の特性に応じた植栽管理の実施
- 県民等との協働による花の公園づくり

【今後の連携方策】 公園の植物管理を行う花サポーターの育成。

◆エリアの特徴的な景観



バラ園の景観



緑道エリアの移動景観



□緑道エリア周辺

- 短期** 繁茂しすぎた竹木の伐採を行い、緑道エリア周辺の景観を整え散策を楽しめるよう整備する。
- 長期** 花サポーターを育成し、交流・生涯学習の場となる公園づくりを図る

□北エリア

- 長期** 「県民協働花壇」を設置し県民との協働による花の名所づくりを図る
- 管理** 竹林が繁茂し景観を阻害している箇所の伐採を行い、景観確保を図る

□中央エリア

- 短期** 来客者の少ない夏季に花をテーマにしたイベントを開催し、集客増加を図る
- 短期** ハナモモの補植と樹種の統一を行い、特徴のある景観づくりを図る
- 短期** カエデの補植や花・実や紅葉の美しい中低木の植栽を行い、10年後・20年後を見据えた秋の名所づくりを図る

□北・中央・南エリア

- 長期** 芝生広場等にチューリップ・コスモス等を群植し、花のパノラマ景観づくりを図る



至 竹取公園・馬見丘陵公園

□佐味田川沿い

短期 彩り植栽、親水施設及び遊歩道整備を行うことにより、馬見丘陵公園までの彩りを楽しみながら散策できる環境の整備を図る

□かつらぎの道

短期 生長しすぎた樹木の伐採等により、五位堂駅から馬見丘陵公園へのアプローチの魅力向上を図る

□中央エリア

短期 高木の間伐とアジサイの補植を行い、見応えのあるアジサイの小径づくりを図る

管理 生長しすぎた樹木の剪定・伐採等を行い、ナガレ山古墳からの視点場づくり(園内の池周辺・スカイラインの眺望確保)を図る

□南エリア

長期 早咲きの桜(河津桜)を植栽し、他の桜の名所よりも早く花を楽しめるよう、来客時期の拡大を図る

至 かつらぎの道・五位堂駅

現況写真



整備イメージ

